

会員企業の実務者ら約 60 人が参加

標準見積書作成のための説明会

関西鉄筋工業協同組合

関西鉄筋工業協同組合（岩田正吾理事長）は 4 月 23 日、大阪府中央区の建団連会館で「標準見積書作成についての説明会」を開催しました。組合の上部団体である全国鉄筋工事業協会（全鉄筋）が作成し、社会保険加入のための原資となる法定福利費を明示した「鉄筋工事標準見積書様式」について理解を深める目的で開催したもので、会員企業の実務者ら約 60 人が参加しました。

説明会では冒頭、岩田理事長が「この説明会の多くの人に参加したのは、皆さんの社会保険未加入問題に対する関心が高いからだ。国土交通省が設計労務単価を平均で約 15%引き上げるなど、国は技能労働者不足に対して本気で取り組んでいる。元請の理解も広がっている。今後はこの見積書を活用し、元請各社の理解が得られるよう鉄筋業界を挙げて取り組んでいきたい」と挨拶しました。

この後、全鉄筋の技術・教育訓練委員会委員を務める組合の森山直樹理事（城東鉄筋社長）が講師となり、▽工事契約と見積書▽「鉄筋工事標準見積書」の概略▽見積書の作成一などのついて詳しく説明しました。

